

平成18年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市宮崎地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

(1) 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・指定管理者として、公の施設を公正・公平に管理しました。
- ・公共性の強い施設であるため、常にコンプライアンスを最重視し、かつ、メンテナンスについても、迅速・効率化を目指し、空調設備、消防設備、エレベーター等の点検を定期的を実施し、地域ケアプラザを安全で安心して利用できる地域住民の財産となるよう心がけ、設備等の故障等により利用者に不便をかけることのないよう、衛生面も含めて維持管理に努めました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・地域ケアプラザの役割を果たせるよう、各事業との連携を密にとり、地域課題の共有化を図ると共に、地域関係機関・団体との協働を行いました。
- ・限られた要員と公的資金での適正な運営に、あらゆる面で効率性を考えながら、省資源はもとより、経費面でも使途目的のチェックや、費用削減に努めました。

ウ 苦情受付体制について

- ・「苦情相談対応マニュアル」に沿って、苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、その情報を常時掲示し、苦情受付の体制を整えています。
- ・法人では、公正・中立の立場から、第三者委員会を設置して適切な苦情解決の体制を整備しています。
- ・公の施設として、利用者に不愉快な印象や苦情を与えないように、対応に対しての職員研修を実施しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・AEDの設置に伴い、4月に職員31名がAEDの取扱い講習を受講済です。
- ・夜間はセキュリティシステムが稼動しています。
- ・「事故防止マニュアル」、「事故等緊急時の対応マニュアル」に沿って、万が一の事故に発生に備えています。
- ・災害時特別避難場所としての役割を認識し、災害時の備蓄物資を整備し、適正に保管しています。
- ・緊急連絡網を定期的に更新し、活用できるようにしています。

オ 事故防止への取組について

- ・介護サービスの提供中のヒヤリハット事例を記録し、かつ、朝夕のミーティングやスタッフ会議にて、注意を喚起し、事故の未然の防止に真剣に取り組みました。
- ・法人が運営する施設の事故報告を共有化し、各施設で、事故の分析、再発防止に向けた検討・対応を行い、事故防止に努めました。

カ 情報公開への取組について

- ・「開かれた施設」を基本姿勢としているので、積極的に情報を公開することに努めました。
- ・施設のホームページを活用し、最新の情報に更新して積極的に公表しています。

キ 環境等への配慮及び取組について

- ・横浜G30プランに基づき、ゴミの減量化、再資源化に努めました。
- ・使用していない部屋の照明をこまめに消し、暖房・冷房の季節には、適切な室温を維持して、節電・節水を心がけ、省エネルギー対策に取り組めました。
- ・全館禁煙です。
- ・施設の緑化には、春・秋の植栽剪定を行い、かつ、花壇の維持管理を行っています。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

- ・要員の欠員が出ないよう配慮していますが、欠員補充には、公募による採用を行い、中堅・新人等経験から適材適所の配置をし、職場の活性化を推進しました。
- ・資格要件等の職員配置基準を満たした配置を行いました。
- ・常勤職員及び非常勤職員の役割を見直し、人件費の効率化に努めました。

イ 職員の研修計画について

- ・年初に計画した年間研修計画により、更なるサービス提供を目指して、職員の定期的な研修を実施しました。
- ・新任職員には、即戦力となるようOJTにより関係職員が指導しました。
- ・職員は、計画的に法人及び施設内の定期研修のほか、外部の各研修に職種毎に積極的に参加し、専門的な技術・技能・資格を取得しました。
- ・非常勤職員全員に、地域ケアプラザ職員としての対応サービス等を研修させました。

ウ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「横浜市個人情報の保護に関する条例」に基づいて、個人情報の保護に努めました。
- ・公の施設であり、指定管理者制度の施設であることを、常勤・非常勤職員全員が周知して、個人情報保護の研修を終了して、その趣旨で行動することを徹底し、個人情報保護に関する誓約書に署名しました。
- ・個人ファイル等はすべて書庫に施錠して保管管理し、不要になった場合はシュレッダーを使用して破棄しています。

(3) 事業内容

ア 関係機関との連携について

- ・ 公の施設として、西区役所の関係担当部署との連携を努めました。
- ・ 地域ケアプラザだけでは、解決が出来ない処遇困難ケース等は、区役所・医療機関・介護サービス事業者・地域の様々な団体/組織との連携を図りました。
- ・ 地域福祉の推進では、区社会福祉協議会・地区社会福祉協議会等との連携を密にし、協働して、福祉のまちづくりを推進しました。

イ 地域団体との連携について

- ・ 地域あつてのケアプラザであり、地域団体との連携を重視しながら、特に町内会役員や民生委員等には、日頃から地域のニーズや課題を提供していただき、多くの問題ケースに協力して対応していくためにも連携を心がけました。
- ・ 地域団体の会合には、積極的に参加し、地域の状況を把握すると同時に、制度や地域ケアプラザのPRを行い、情報交換をしながら連携して、地域における高齢者や子育ての支援に取り組みました。

● 地域活動・交流事業

ウ 運営協議会の開催時期・議題について

第1回開催日 6月6日(火) 14:00~15:00

出席者：運営委員 17名 区事業企画係 1名 CP 9名 合計 27名

議題：新年度委員紹介

- ・ 平成17年度事業報告
- ・ 平成17年度地域支えあい連絡会活動報告
- ・ 平成18年度事業計画
- ・ その他 運営委員の構成について

第2回開催予定日 11月21日(火) 14:00~15:00

出席者：運営委員 16名 区事業企画係 1名 CP 4名 合計 21名

議題：平成18年度上半期事業報告

その他：地域住民相談者とのトラブルの件、目的外使用について

エ ボランティア育成について

- ・ ボランティア講座OBの方の継続活動を支援。
- ・ 貸館利用団体のボランティア活動支援・コーディネートは、2月に「地域と貸室利用団体交流会」を開催し地域への活動をアピール、活動計画中。また施設内のデイサービスや自主事業等では、多くの団体がレクレーションボランティアとして活動をしています。
- ・ 地域の中で子育て支援ボランティア活動をしている方のスキルアップ講座「読み聞かせ講座」を開催。参加者の声もあり、西区初の乳幼児向けおはなし会のボランティアグループ立上げへと発展、展開中です。
- ・ 地域防犯ボランティアグループ「まもり隊」(地域支えあい連絡会から発展した活動)との小学校との交流会開催・一斉下校時の小学校との連携による見守り活動、警察署での地域の防犯教室、抑止効果のため警察署との地域一斉パレードなどのコーディネートを行いました。また、日頃の見守り活動のための情報通信発行や関係機関との調整などを行っています。
- ・ 自主事業「男性のための料理教室」OB会の、料理を通しての、地域やケアプラザ事業などでのボランティア活動をコーディネートし、男性高齢者の活動の場を広げました。

オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

- ・稼働率向上に引き続き努力しました。当施設の立地は地域の外れにあり、文化施設や桜木駅から近いため地域住民外の団体利用率は多いものの、ケアプラザ本来の目的である地域の活動拠点としての貸室の機能には課題がありました。稼働率向上に向けて、地域での利用の勧誘を図りました。
- ・地域住民の利用率を上げるために 地域住民の皆さんに、ケアプラザを知っていただくために「地域コミュニケーション講座」を展開し利用を促すなど、利用の機会の拡大を図りました。
また、地域での自主的活動を促す効果として、当施設の事業である、読み聞かせの活動団体の立ち上げ、育成等の事業も積極的に推進してきました。

カ 地域活動・交流部門における自主事業の事業展開について

- ・地域を歩き、地域の活動になるべく参加して地域住民との会話のなかで、地域ケアプラザがいかにか知られていないかを実感。そこで地域住民と一緒に考えていく自主事業では、ケアプラザの宣伝も兼ね、パワーポイントを作成しケアプラザの設置目的、機能などを知っていただくことを重視した「コミュニケーション講座」を地域住民が興味のあるカテゴリーで展開しました。一度もケアプラザを利用、来館したことのない多くの地域住民が参加いただきました。来年度も続けて展開します。
- ・子育て支援は、参加親子も順調に増えてきているため、今年度は本来の子育て支援(子育て相談、母子関係や子どもたちの発達チェック、交流の場など)事業の内容を充実させ、また、西区子ども家庭支援との連携を今まで以上に密にするため、子ども家庭支援にも働きかけています。
- ・地域支えあい連絡会から発展した活動「下校パトロール まもり隊」。本年度は、小学校児童との交流や活動の連携の調整、また関係機関(警察署や交通安全協会、警察OB会)との共催事業開催コーディネートを地域の防犯活動に支援しました。

● 地域包括支援センター事業

キ 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

- ・地域に出向く機会(出前講座:ふれあい会・地区社協などで開催された食事会やお茶会等のイベント)参加したり、ケアプラザ内での各行事(ミニディサービス・体操教室)に出席して、チラシやリーフレットなどの媒体を使用して説明しながら地域包括支援センターの役割について周知活動を行いました。

ク 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- ・上述の機会を利用して基本健康診査の受診推奨を行い、介護予防支援事業へとつなげました。また、その際、血圧測定等を実施し健康相談を行いました。
- ・地域づくりとしては、2月に民生・児童委員の研修に参加し意見交換会や事例検討を通して地域ニーズの把握に努めました。
- ・10月の宮崎まつりで、主に地域の方々を対象に「脳年齢測定」や西区役所健康づくり係と連携して「肺機能チェック」及び保健指導を行いました。
- ・7月～11月に「地域体操リーダー養成講座」を実施し、約25名の参加があり、地域での健康増進活動の担い手を養成しました。

ケ 介護予防ケアマネジメント事業

平成 18 年度の宮崎ケアプラザ担当地区での実績

① 要支援者について

介護予防サービス利用者数

要支援 1、2・・・56名（基準日：平成 18 年 9 月末）

要支援 1、2・・・99名（基準日：平成 19 年 3 月末）

* 18 年度中の終了者 計 25 名

（内訳：介護保険へ移行 14 名、入所・入院 2 名
死亡 5 名、利用なし 4 名）

② 特定高齢者について

特定高齢者推計数・・・176名（基準日：平成 18 年 3 月）

（65 歳以上の高齢者数 3,527 名 X 5%）

特定高齢者事業利用者数

転倒骨折予防体操教室・・・11名（エリア外 1 名含む）

フットケア教室・・・7名（転骨利用者と重複）

栄養・口腔ケア・・・2名

訪問型サービス・・・6名

コ 総合相談・支援事業

・地域に開かれた窓口として、包括職員が毎日 1 名以上は出勤しているようにシフト勤務体制を組んで対応しました。

・独居（日中独居を含む）の高齢者や介護認定を受けているがサービスを利用していない方、地域との関係が希薄な高齢者、民生委員や区役所職員等から依頼を受けたケースに対し、助言・訪問を適宜おこないました。

（ 18 年度 相談延件数 233 件 訪問延件数 134 件 ）

サ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

・ 11 月にケアマネ・民生委員を対象に消費生活相談者を招き「消費生活啓発講座」を開催しました。

・高齢者の虐待の恐れがあるケースには、区役所、ケアマネ等関係機関と連携し、担当者が一人で抱え込まないように複数で情報を共有しながら対応しました。

シ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

・サービス担当者会議については、区役所との定例カンファレンスに合わせて開催を支援しました。またケアマネジャーからの要望で、随時自宅等へも出向き会議に参加しました。また貸室のみの依頼もありました。

・西区ケアマネジャー研究会の役員会や定例会へ出席し、後方支援を行いました。その中で、ケアマネジャーと医療との連携についての話を進めました。

・西区役所と西区内の包括の主任ケアマネジャー合同で、1 月に新任ケアマネジャーを対象に、1 日研修と小規模多機能施設の見学を実施しました。

ス 介護予防支援業務の取り組みについて（実施体制等）

≪職員体制≫

- ・ 3職種（保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士）体制で取り組んだ。
- ・ 10月からは、予防プランナー1名（非常勤介護支援専門員）を採用し、3.5人体制で介護予防支援業務に従事しました。

≪目標に対する取組状況≫

- ・ 利用者に混乱が生じないように十分な説明を心がけました。

≪実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）≫

- ありません

≪利用者数≫

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
6	14	28	45	51	56
10月	11月	12月	1月	2月	3月
64	71	82	86	97	99

《提供したサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 生活指導（相談援助）
- 機能訓練（日常生活動作）
- 介護サービス(食事、排泄、介助等)
- 健康状態の確認
- 送迎、給食、入浴

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （経過的要介護） 645円
 - （要介護1） 718円
 - （要介護2） 837円
 - （要介護3） 955円
 - （要介護4） 1,074円
 - （要介護5） 1,193円
- 入浴負担 53円
- 食費負担 500円

《事業実施日数》 週7日 [年末年始（12/29～1/3）を除き年中無休]

《提供時間》 9：50 ～ 16：10

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談者 4名（常勤専従1名、常勤兼務3名）
- 看護職員 3名（常勤専従0名）
- 介護職員 20名（常勤専従1名、常勤兼務3名）
- 運転職員 6名（常勤専従0名）

《目標に対する取組状況》

日頃、外出する機会の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、ご利用者個人に有する能力に応じ自立した日常生活ができるようにサービスを提供しています。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①音楽療法、健康体操・・・年3回専門の講師/先生を招いて行っています。
- ②利用者アンケート調査の実施・・・平成14年から継続して、毎年6月と12月に実施し、その結果を利用者に公表し、サービス改善活動に繋げています。
- ③平成17年度よりサービス提供時間を1時間20分延長し、介護予防的な体操等を多く行い、かつ、レクリエーションに個人の希望による選択性を取り入れています。
- ④毎食前、口腔機能体操を取り入れ、また、食後の義歯洗い、口すすぎを奨励し、口腔清潔等の実施を行っています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
790	809	800	804	778	771
10月	11月	12月	1月	2月	3月
789	749	684	656	647	678

● 介護予防通所介護

《提供したサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成
- サービス計画に基いた機能訓練体操
- レクリエーション
- 健康状態の確認
- 給食
- 送迎、入浴（希望の場合）

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 2,360円（月額）
 - （要支援2） 4,614円（月額）
- アクティビティ 86円（月額）
- 食費負担 500円／回

《事業実施日数》 週7日 [年末年始（12/29～1/3）を除き年中無休]

《提供時間》 9:50 ～ 16:10

《職員体制》 通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

《目標に対する取組状況》

個別のサービス計画書に沿った機能訓練体操をアクティビティの中で提供し、楽しく生き生きと過ごしていただくと共に、ご利用者個人の有する能力に応じ自立支援をサポートしています。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

通所介護事業の①②④と同じ

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	9	35	53	59
10月	11月	12月	1月	2月	3月
65	76	73	88	118	139

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
但し、平成19年3月1日付で、管理者を介護支援専門員の有資格者にした変更届を申請提出済です。
- ・ 介護支援専門員 1名（常勤専従）

《目標に対する取組状況》

- ・ 利用者一人ひとりの生活ニーズの把握と介護度に応じた適切なサービス計画(ケアプラン)の作成に努めました。
- ・ 利用者等の信頼関係に基づいた相互関係の中で援助を行いました。
- ・ サービス事業者等との連絡調整を図り、問題解決に向けて取組みました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

- ありません
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 各種講習会・研修会に積極的に参加し、ケアマネジャーの資質向上に努めています。
- ・ ケアプラン作成後も、利用者・家族の皆様と連絡をとり、相談しながら必要なサービスを提供できるように支援しています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
31	32	34	32	33	32
10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	30	30	28	26	27

●その他

セ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

- ・地域包括支援センターの開設に伴い、地域の総合相談窓口であることを地域住民にこれまで以上にアピールし、高齢者に限らず障害者・乳幼児・子供等を含めて広く地域住民のための施設であることを、職員全員が再認識して協働しながら各事業を展開しました。
- ・介護サービスを提供する中から、個別の相談や地域の課題を、地域活動交流及び地域包括支援センターと連携して、各担当者がチームアプローチの視点から協働し、情報の共有化をして、解決に努めました。

ソ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

- ・毎月、部門ごとの会議の他に、定期的に職員全員による会議を開催し、部門の情報交換を行い、各部門の業務の進捗状況、課題の共有化を図り、課題解決に向けて連携しています。
- ・非常勤のパート職員には、所属する各部門内に連絡ノートを備えて、お互いに最新の情報を共有して、お客様及びご利用者様への対応を行っています。

<以上>

平成18年度自主事業報告書

(地域活動交流)

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・ 定期事業

NO. 1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援事業 ミニデイ 「いきいきサロン 宮崎」	目的：65歳以上の一人暮らし、75歳以上の高齢者夫婦世帯の方で自力で会場まで来られる方を対象にした、見守り・交流の場を目的とした会食会。 内容：別紙参照	毎月第2・3水曜日 11:00~14:00 19回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援事業 わくわく親子プラザ	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。 内容：別紙参照	毎月第1月曜日 10:30~12:00 13回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援事業 みやぎキッズ (新規)	目的：未就学の乳幼児の親子を対象にしたフリースペース。公園などの遊び場の減少・遊び場の安全などの地域の課題を踏まえての開催。また毎回、お楽しみタイムを設けCPとのコミュニケーションを図る。	毎月 第1月曜日 13:00~17:00 第3木曜日 13:30~17:00 23回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域支援事業 まもり隊事務局	目的：平成16年度地域支えあい連絡会にて地域の声があがり、平成17年度4月より活動を開始した、子どもの見守り・町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。「地域の子どもは地域で守る。」が合言葉。 活動内容：行政が主動で活動している組織が多い中、連合町内会・地域住民が主動で活動している。地域支えあい連絡会は発展的解散はしたが、活動は現在も続いている。CPの役割は事務局。各町内会の活動把握や行政（警察・消防署・区）との連絡調整、また小学校行事に伴う下校時間、休校など小学校と連携し情報紙の発行や子どもや教職員との親睦会など3小学校との調整など。	見守り・防犯活動は町内会単位でほぼ毎日活動 連絡調整随時 情報紙、3小学校分毎月発行。

横浜市宮崎地域ケアプラザ

(地域活動交流)

・単発事業（共催事業含む）

NO. 2

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4月			
5月	男性のための料理教室 (5月～6月・全3回)	目的：男性の集まる場を提供し、仲間作りのきっかけとする。 内容：基本的な栄養や調理について学んでもらう。OB会Boy'sキッチンワーカーズの料理を通してのボランティア活動を紹介。 協力：Boy'sキッチンワーカーズ	5月29日(月) 6月13日(火) 6月19日(月) 10:00～13:00
7月	①地域コミュニケーション講座	目的：地域のボランティア(民生児童委員・ふれあい会・各地区社協・個人など)を対象の講座と全くCPを知らない方にCPを知っていただくための企画、運営。地域住民が望んでいる講座、教室を地域と協働で開催する。 内容：7月は全くCPを利用したことのない地域住民向けに地域交流会食会(「CPって何?」講座開催)と近隣の施設を利用した歌舞伎鑑賞。	7月27日(木) 12:00～17:00
	中学生のボランティア講座 (7月～8月・全5回)	目的：中学生のボランティア活動スタートのきっかけづくり、また地域の新しい担い手としての発掘の場。 内容：1～3回目は高齢者・障がい者・子育て支援/CPの役割を学ぶ。4回目は各関係機関に協力頂きボランティア体験。5回目は活動報告・交流会。	7月26日(水) 7月28日(金) 7月29日(土) 10:30～12:30 8月1日～12日 のうちの1日体験 8月21日(月)
	①障がい者啓発講座	目的：障がいのある方自身の「地域の中には障がいのある人も一緒に暮らしていることを知ってもらいたい」「地域の中で私たちにできることはないのか」との声から昨年度、単発事業を開催。今年度は不定期ではあるが何度か、地域住民の方との交流を主とした会を開催。 内容：1回目は地域に住む中学生との交流・啓発を予定。	開催日時未定 7月は中学生ボランティア講座に組入る 7月29日(土) 10:30～12:30
8月	①障がい児余暇支援活動	区社協との共催。 障がい児家庭の長い休み期間の支援。	7月29日(土) 8月3日(木) 8月4日(金) 8月23日(水)
9月			
10月	①第7回宮崎まつり	目的：テーマ「赤ちゃんから高齢者まで誰もが、健康で自立した暮らしを続けていける、元気でいきいきとしたまちづくりの拠点として当CPを気軽に利用していただく」ための地域住民の交流の場や地区社協と共催することで繋がりを深めていく。また、CPを知っていただく。	14日(土) 11:00～14:00

11月	①お父さんのわくわく親子プラザ	目的：未就園児の父子を対象にした、親子のコミュニケーション方法を学ぶ。 内容：体を動かすコミュニケーション（親子体操・リズム遊び・手遊び）を中心に学ぶ。	祝日または土曜 10:30~12:30
12月	②地域コミュニケーション講座	目的：上記掲載 内容：地域の子育て支援担い手の方からの要望。スキルアップ講座「読み聞かせ講座」全3回	12月2日(土) 12月9日(土) 12月16日(土) 10:00~12:00
1月	①異世代交流サロン	目的：地域の高齢者（65歳以上）と幼稚園児のふれあい交流会。顔見知りになるきっかけづくり。 内容：園児と先生で高齢者のために催し物を企画・運営。本年度は手遊び。	1月29日(月) 11:30~13:30
2月	①貸館利用団体説明会	目的：「使用上の注意」を守れない貸室利用団体が多くなっているため、トラブルが発生している。そのトラブルを無くし、ケアプラザの設置目的、機能を知っていただき、「使用上の注意」を理解していただく。 内容：パワーポイントで、ケアプラザの設置目的機能を説明。「使用上の注意」の内容の意味を知っていただく。地区センターなどとの違いを知ってもらう。	2月18日(日) 13:00~13:50
	②地域と貸館利用団体交流会	目的：貸室利用団体の地域への福祉・保健活動への支援。 内容：地域の方に日頃の練習成果を披露していただく場。と共に地域や当CPでのボランティア活動への啓発や貸館利用者同士の情報交換の場。地域との交流の場。	2月18日(日) 14:00~16:00
3月	①ボランティア交流会	目的：日頃のボランティア活動に感謝の意を職員一同表すと共に、CPの各事業での様々なボランティア活動があることの紹介やボランティア同士の情報交換の場、地域とボランティアのコーディネート場。 内容：アイスブレイキングから始まり、今回はボランティアにも「ケアプラザってどんなところ？」をパワーポイントで知ってもらった。昨年度に引続き「ボランティア交流会」に出席していただくことで、活動繋がって行ったり、情報を得るような会にした。	3月28日(水) 13:30~15:30

平成18年度上半期 子育て支援事業 「親子わくわくプラザ」 開催状況

場所:横浜市宮崎地域ケアプラザ 3階 多目的ホール

※毎月第一月曜日、10:30~12:00の開催

開催日時	参加者数	内容
4/3	55	①自由遊び ②年度初めのため「あくしゅでこんにちは」に合わせ自己紹介ゲーム ③新聞紙あそび・突入破り・細かく破る・紙吹雪・集め競争・新聞紙ボール遊び ④体操「にんげんっていいな」
5/1	31	①自由遊び ②歌で点呼、手遊び ③鯉のぼりづくり ④体操「にんげんっていいな」
6/5	66	①自由遊び ②歌で点呼 ③おはなしかい:この本だいすきの会 横浜西支部 シートの会 ④体操「にんげんっていいな」
7/3	55	①自由遊び ②幼児救急法:西消防署
8/7	39	①自由遊び ②歌・歌で点呼・手遊び ③バルーン遊び:中学生のボランティア講座より6名参加 ④ホットプレートでポップコーン作り ⑤体操「にんげんっていいな」
9/4	65	初の母子分離親子支援事業 ①子ども引渡し(子どもの体調確認他) 子どものプログラム ②ボランティアによる預かり保育、自由遊び ③おやつ ④保育中の子どもの様子を親に伝える 親のプログラム ①子どもを預け別室へ ②CPからお願いしたアンケート記入 ③ケーキ・紅茶を楽しみながらお母さん同士の歓談

平成18年度下半期 子育て支援事業 「親子わくわくプラザ」 開催状況

場所:横浜市宮崎地域ケアプラザ 3階 多目的ホール

※毎月第一月曜日、10:30~12:00の開催

開催日時	参加者数	内容
10/2	47	①自由遊び ②うた ③「宮崎」秋の大運動会 ・グループ決め ・玉入れ ・玉集め ・かけっこ おつかい競争 ~おやつ~ ・風船ゲーム ・パン食い競争他 ④体操「にんげんっていいな」
11/6	40	①自由遊び ②歌で点呼、手遊び ③読み聞かせ 紙芝居「ごろん」「おかあさんだいすき」 手遊び「さかながはねた」「カレーライスのうた」 ④サンタクロースつくり ~おやつ~ ⑤さよならあんころもち
11/18	14	①自由遊び ②歌で点呼、手遊び ③手作りおもちゃ「たまご たまご」作成 講師:子育て支援者 藤井美佐子 氏 ④ティータイム懇親会 ⑤さよならあんころもち
12/4	75	①自由遊び ②クリスマスパーティー ・みんなでうたおう ・キャンドルサービス ・パネルシアター他 ・おかあさん方によるパフォーマンス「たまご たまご」 ③サンタさんと記念撮影
1/15	39	①自由遊び ②リトミック 講師:子育て支援者 八木沼れい子 氏 ・体を使った遊び ・親子遊び ・感覚遊び ・エプロンシアター他 ③子育て相談 ④おやつ
2/5	33	①自由遊び ②絵本読み聞かせ ③乳幼児口腔ケア教室 講師:さくま歯科医院 院長 佐久間 啓史 氏 ④おやつ ⑤さよならあんころもち
3/5	68	①自由遊び ②さようならの会 ・卒業証書授与式 ・参加者メダル授与式 ③パネルシアター・うた・エプロンシアター ④おやつ ⑤絵本読み聞かせ

平成18年度 高齢者支援事業 「いきいきサロン宮崎」 開催状況

場所:横浜市宮崎地域ケアプラザ 3階 多目的ホール

※毎月第2・3水曜日、11:30~14:00の開催

開催日時	参加者数	内容
4/5	46	①お花見会:雨天のため当ケアプラザ開催 ②献立:お花見弁当 ③レク:大正琴「琴寿会」演奏会
5/10 5/17	40	①献立:筍ご飯、肉じゃが、春野菜の天ぷら他 ②レク:ゲーム「日本地図を作ろう」
6/14 6/21	38	①献立:八宝菜、青菜のごまあえ、きんぴら他 ②レク:頭の体操「神経衰弱」
7/12 7/19	40	①献立:ポテトコロッケ、おくらの納豆和え、切干大根他 ②レク:体操、頭の体操
8/9	26	①献立:シーフードカレー、サラダ他 ②レク:三味線演奏会
9/13 9/20	45	①献立:煮魚、茶碗蒸し他 ②レク:区高齢者支援担当、包括より介護予防の話
10/30	41	①バスハイク:宮崎CP~雷門~シーバスに乗り浜離宮~宮崎CP ②食事:あさくさむぎとろにて
11/8 11/15	49	①献立:きのこご飯、秋刀魚の幽庵焼き他 ②レク:ゲーム「コップ積立」
12/20	46	①献立:ビッフェ形式食事 ②レク:クリスマスコンサート「帆船日本丸男声合唱団」
1/17	44	①献立:魚のムニエル、サラダ、ミネストローネ他 ②レク:フットケア教室
2/14 2/21	42	①献立:稲荷寿司、のり巻、ささみのホイル巻他 ②レク:絵手紙作成
3/14	45	①献立:ピラフ、魚の野菜あんかけ他 ②レク:口腔ケア教室

平成18年度自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

(地域包括支援)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域体操リーダー養成講座	目的；ケアプラザや地域での体操指導の担い手を養成する。 内容；健康運動指導員の指導の下、体操の目的や効果を学び、基本編から応用編まで運動を展開し指導する方法を身につける。	7月～11月まで全8回コース

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	目的；介護者の情報交換や憩い・リフレッシュの場。 内容；茶話会や介護に関する勉強会・施設見学等を行ったり、レクリエーションとしての遠足や物作り等を行っている。	原則毎月7日の日 18年度は5月を除き11回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成18年度 自主事業収支報告書

(地域活動交流)

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者支援事業 いきいきサロン宮崎	70歳以上の一人暮らし・日中独居	512,153	104,953	407,200	11,111	478,445	22,597
	75歳以上の高齢者世帯						
	延502名 450円						
子育て支援事業 親子わくわくプラザ	未就園親子	90,253	84,553	5,700	22,222	61,611	6,420
	延627名						
	原則なし 内容により徴収						
子育て支援事業 みやぎキッズ	未就学親子	18,333	18,333	0	3,333	0	15,000
	延159名						
	なし						
地域支援事業 まもり隊	地域住民	5,300	5,300	0	0	0	5,300
	11名						
	なし						
男性のための料理教室	全回参加可能な男性	17,442	14,942	2,500	0	17,442	0
	延16名						
	500円						
地域コミュニケーション講座 ①歌舞伎	地域住民全て	108,134	10,434	97,700	0	11,984	96,150
	27名						
	3,500円						
地域コミュニケーション講座 ②読み聞かせ講座	子育て支援に関わっている方	33,333	18,833	14,500	33,333	0	0
	延29名						
	1,500円						
障がい者啓発講座	地域住民誰でも	15,760	15,760	0	0	0	15,760
	9名						
	なし						
中学生のボランティア講座	区内在住中学生	6,871	6,871	0	0	6,871	0
	延べ32名						
	なし						
宮崎まつり	地域住民誰でも	178,943	70,301	108,642	0	178,943	0
	約450名						
	なし						
お父さんの わくわく親子プラザ	未就園父子	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	11組(30名)						
	なし						
異世代交流サロン ふれあい交流会	65歳以上の一人暮らし・日中独居	17,620	17,620	0	0	17,620	0
	75歳以上の高齢者世帯						
	園児32名 高齢者17名						
	なし						
地域と貸室利用者交流会	貸館利用者と地域住民	0	0	0	0	0	0
	65名						
	なし						
貸室利用説明会	貸館利用者	0	0	0	0	0	0
	52団体						
	なし						
ボランティア交流会	当CPボランティア	15,135	15,135	0	0	15,135	0
	29名						
	なし						
		1,029,277	393,035	636,242	79,999	788,051	161,227

事業ごとに別紙に記載してください。

平成18年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名：横浜市宮崎地域ケアプラザ

(自)平成18年4月1日
(至)平成19年3月31日

	科目	(A)	(B)		(C)	(D)	(E)	(F)
		地域活動交流	地域包括支援センター		居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	
			包括的支援	介護予防支援				
収入	指定管理料収入	20,326	22,501					
	介護保険収入			1,598	4,509	92,110		
	その他	0		809	890	2,868	0	
	認定調査事業				439			
	転骨・フットケア教室			809				
	雑収入その他等					451	2,868	
収入合計(A)		20,326	22,501	2,407	5,399	94,978	0	
支出	人件費	10,328	17,298	693	8,603	59,000		
	事務費	1,379	1,969	272	343	9,584		
	事業費	1,389	242	182	17	9,884		
	管理費	6,798				0		
	その他	516	2,992			4,425		
	経理区分繰入金支出					3,419		
	消費税その他等	516				1,006		
戻入金額		2,992						
支出合計(B)		20,410	22,501	1,147	8,963	82,893		
収支 (A) - (B)		-84	0	1,260	-3,564	12,085	0	

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。 (単位:千円)